

平成25年度 第2回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成26年3月25日(火) 市役所東庁舎4階 入札室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 毛満 良子 齊藤 久美子 廣谷 行敏(委員長職務代理者) 五十音順		
審議対象期間	平成25年4月1日～平成25年9月30日		
抽出案件(総件数)	建設総務 3件 水道局 2件	議 事 1 変動型最低制限価格の設定について報告 2 入札及び契約手続の実績状況等の報告 3 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 3件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	建設総務 1件 水道局 2件		
公募型指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
随意契約	建設総務 1件 水道局 1件		
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会
平成25年度 第2回会議録

<p>(建設総務課分) [事後審査型一般競争入札(持参方式)]</p> <p>① 広瀬連絡所及び高松連絡所耐震補強工事 和歌山市立こども科学館地震補強工事</p>	<p>事務局(建設総務課) 抽出事案の概要説明</p> <p>両工事共、市の施設を年次計画で補強工事を行っていく中の2件です。両工事とも2者のみの応札となっており、一昨年終わりからの全国的不況(労働者等人材不足、材料高騰による調達難)により、発注時期に調達できない現象が発生しています。</p> <p>この事態を受け、平成25年度初めには、国の指導のもと労務単価を引上げ予定価格を積算しているものの、補強材については、学校のように同種パターンの開口ではなく、部分により形状が異なるため、別注する特殊性があります。さらに、地震補強工事となる補強材料の高騰により、請負業者の努力で利益を生み出すこと、また、経費を削減するまでにも至らないという状態であったため高い落札率になったものと考えられます。</p> <p>委員: 予定価格は事前公表かと思いますが、予定価格を超える入札があったというのはどういった状況でしょうか。</p> <p>事務局(建設総務課): 予定価格を超える入札については通常考えにくい事ですが、業者が利益等を勘案し実際に積算した結果、今回の額を入札した可能性が考えられます。</p> <p>また、1者入札が続いた場合最終的に随意契約を行うという方法がありますので、談合の可能性も考えられません。</p> <p>委員: はい、わかりました。今後このような案</p>
---	--

[事後審査型一般競争入札（持参方式）]

② 海草橋島崎町線仮橋設置工事

件が続く可能性もありますので、業者に確認する等検証作業を続けてください。

事務局（建設総務課）：抽出事案の概要説明

当橋梁は、県道和歌山海南線と市道本町和歌浦線を結ぶ新生町から汐見町に渡る橋であります。

この工事の施工前の準備として、近隣の家屋事前調査、既存橋に密接している大阪ガスのガス管移設及びN T Tの電話ケーブル回線切り替え等各企業との支障移転工事があります。また、海草橋撤去に伴い、通行止めの措置及び県公安委員会による仮設信号柱設置及び関西電力の電力柱、架空線移設工事が発生します。

これらのことから、元請業者の采配ですめる工事ではなく、手間な要素が多くなっている。また、夜間工事等の制限があるため、工事資材等の高騰もあり落札率が高くなったと考えられます。

委 員：はい、わかりました。

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

③ 湊紺屋町3丁目～西布経丁2丁目連絡管布設工事

事務局（水道経理課）抽出事案の概要説明

他の配水管工事と比べて落札率が高く、かつ、応札者数が少ない工事案件であるということで抽出された事案です。

発注業種としては、土木工事業、水道施設工事業又は配水管工事（水道局）としており、和歌山市内に営業所を有していれば、県外業者も入札参加可能とするものとしていました。

本工事の施工内容としましては、鋼管の単独橋を含んでおり、また、護岸の基礎工

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

太田～北出島配水管布設替工事

事も含んでいるため、通常の配水管工事とは異なりますので、施工実績として、接合部に溶接工を含んだに水管橋又はガス管橋の元請としての施工実績がある者等の条件を求めました。

開札結果ですが、4者の応札があり、県外業者の参加が2者、市内業者の参加が2者となっています。応札者が少なかったことについては、単独橋の確実な施工の確保の観点から施工実績の要件がやや厳しくなっていたことからであると考えています。通常の配水管工事と比べると、鋼管材料の入手が限られており、見積価格が高いことと土木工事業の見積りも高くなったことが想定されます。

委員：はい。わかりました。

事務局（水道経理課）抽出事案の概要説明

こちら他他の配水管工事と比べて落札率が高く、かつ、応札者数が少ない工事案件であるということで抽出された事案です。

発注業種としては、土木工事業又は配水管工事(水道局)としている市内業者とし、100メートル以上の配水管布設、布設替等の工事实績があることを条件としています。土木工事業者については、区域要件を定めていました。

他の配水管工事と比べ応札者が少なかったことについては、住宅地内の施工の割に主要道路の抜け道となっている道での施工となっており、道路幅員が狭いにも関

わらず通行車両が多く、また、近隣住民との協議も必要となってくることや、夜間作業も含んでいることから現場経費の増加につながり、また、住民協議によっては、作業時間の制限や夜間作業への移行も想定されたことによるものと考えます。

委員：はい、わかりました。